



2026年3月に「第3回宝石検定」実施 合格者限定のセミナーも充実

一般社団法人日本宝石協会(東京都台東区東上野)は、宝石に関する知識を問う「第3回宝石検定」(2026年3月1日実施)の早期申込者に抽選で宝石が当たるプレゼントキャンペーンを実施することを11月13日付で発表。同日より「第3回宝石検定」の申し込み

を開始した。それによると早期申込みキャンペーンとして抽選で30名に、ダイヤモンド、アコヤ養殖真珠などの宝石をプレゼントするという。また、宝石検定合格者限定の深掘りセミナーVol.1として、11月29日に日独宝

日本宝石協会

石研究所所長の古屋正貴氏による「インクルージョンから見る宝石」が開催される。石が辿ってきた経歴や構造、観察するために望ましい設備や環境につい



ても深く掘り下げた内容となる。時間は13時～14時30分。方式はZoom。受講料は2,000円。定員先着100名の宝石検定3級・2級の合格者。同じく、宝石検定合格者限定の深掘りセミナーVol.2が2026年1月24日に開催される。テーマは「宝石鑑別書を理解する」。講師は(株)東京宝科学アカデミー取締役、一般社団法人宝石鑑別団体協議会(A.G.L)真珠委員長の渥美郁男氏。宝石鑑別書と宝石鑑定書の違いや保証書とはどのようなものか、宝石の処理の種類・記載に至るまで優しく学べる内容になっている。



(株)エヌジェーは、2026年3月1日の検定の申込み締め切りは2026年2月12日。形式はオンライン検定。

海外マレーシアへ人気セレクトショップに出店



「KAKERA」は、4°Cをはじめとした人気ジュエリーブランドを手がけるエフ・ディ・シー・プロダクツが、ジュエリーの新たな価値観を提案すべく誕生させたブランド。

自然が生み出した鉱物の“ありのままの美しさ”を尊重し、従来はジュエリーとして扱われにくかったインクルージョン(内包物)や石独自の個性のある表情を魅力と捉え、唯一無二の存在感を持つジュエリーへと昇華している。

Flying Soloは、ニューヨークとパリに店舗を構える、世界中の新進気鋭のデザイナーをキュレーションするセレクト

ショップで、多くの国際ファッションメディアにも取り上げられている。ファッション、アート、ジュエリーの枠を超えて、世界中のクリエイティブな才能が集う「Flying Solo」に、KAKERAが新たに出店。これにより、自然と人とのつながりをテーマにした新しいジュエリー体験を、グローバルな舞台で発信する第一歩となった。「KAKERA」は6つのコレクション(ONE of a KIND、SILVER、COLOR STONE、DIAMOND、BIRTH STONE、MOTIF)を展開しており、個性ある天然石とシンプルな造形が融合したデザインで、多くの人の日常に寄り添うジュエリーを提案している。

CT スキャン使用 天女、花珠、鑑別書

※天女、ロイヤル天女は日本宝科学協会で商標登録されています

日本真珠学術協会

〒110-0005 東京都台東区上野 5-22-1 東鈴ビル6F
TEL:03-3836-2507 FAX:03-3836-2689

日本最大級のブライダルジュエリー 自社工場を併設 生まれ変わったビジュピコ青森店



国内最大級のジュエリー・ブライダルジュエリーのセレクトショップを50店舗以上展開するBIJOUPIKOグループ(東京都台東区、代表取締役:石部高史)は、11月11日に、ビジュピコ青森店を約250坪のブライダル

など複数のキャンペーンを開始した。新店舗は、現在の規模を大きく超える約250坪の広さを有し、自社工場が併設する日本最大級のブライダルジュエリー店になる。店内は白を基調に広々としたスペースに、青森県内最大級の50ブランド3000種類の婚約指輪や結婚指輪を揃える。また、自社工場併設ならではのスピーディかつ柔軟な対応で、より一層顧客に寄り添った指輪選びをサポートしていく。

県弘前市に移転リニューアルオープン。これを記念し、いま話題のラブをプレゼントする

特別な鉱山からの宝石を特集 11月22-23日にグランドフェア

(株)エヌジェー主催によるユーザー展「グランドフェア2025」が、11月22日・23日の2日間、ザ・プリンスパークタワー東京にて開催される。

2025年の新作ジュエリーをはじめ、国内外の厳選されたブランドジュエリーなど多数取り揃え、ジュエリーの輝きと煌めきの世界を堪能する。注目は「SPECIAL MINE JEWELRY」。限られた資源の「宝石」は、今現在も世界中で採掘され続けている。同展示会では鉱山(マイン)にクローズアップし、すでに閉山してしまった「CLOSED MINE」や、高い品質の宝

石が採掘される「SPECIAL MINE」の石を特集する。地球が土の奥深く、数億年の長い年月を

エヌジェー

かけて生み出された希少なコレクションで楽しませる。二度と採掘されることのない入手が困難なジュエリーから特別な鉱山の宝石までを紹介する。

ピックアップブランドは、イタリア・ヴァレンツァで1967年に創業の「ピキョッティ」。絶え間なく技術を磨き創作を続ける創業者のピキョッティ氏が来日。ピキョッティが生み出すジュエリーの美しさと素晴らしいを紹介する。

また、12月8日には恒例の「クリスマスジュエリー パーティ2025」をシェラトン・グランデ・トーキョーベイで開催する。

イタリア・ヴィチェンツァ発のラグジュアリージュエリーブランド「ロベルトコイン」(株ムラキ)は、銀座に国内路面店第一号となる「ROBERTO COIN GINZA」を11月13日に新装オープン。16日まで記念イベントを開催し、コレクション「ジャスミン」国内で

イタリアンジュエリーブランド「ROBERTO COIN GINZA」がオープン

の創造性とクラフツマンシップを体感できる機会とした。



緻密な技術と詩的な美しさが共鳴する「ジャスミン」コレクションは、花びらを思わせる有機的なフォルムが特徴。マザーオブパールの柔らかな乳白色の艶めきで、花の持つ優しさを表現したモデルや、パヴェダイヤモンドモデル、マットなゴールドベースのモデルなど様々なラインナップを揃える。花びらのサテン仕上げはすべて職人の手作業によって施され、一本一本の彫りの深さや角度までも緻密に設計されている。さらに、すべてのジュエリーには、ロベルトコ

インのシグネチャーである一粒のルビーがひそやかに埋め込まれており、幸運への願いが込められている。イエローゴールドがコレクション全体を包み込み、ラグジュアリーでありながら、日常にも自然に寄り添う存在感を放つ。

「Carousel(カルーセル)」は、ロベルトコインが提案する新しい感性のジュエリーコレクション。ピンク、イエロー、グリーンなど多彩なカラーストーンを組み合わせ、ミニチュアのようなモチーフを連ねて仕立てたデザインは、まるでメリーゴーラウンドのように軽やか



に輝く。キャンディのように甘く煌めく宝石、綿菓子のようにふんわりとしたフォルム。18Kゴールドの繊細な細工が魔法の絨毯のように石を包み込み、見る人の願いや夢を映し出す。年齢やスタイルを超えて楽しめるCarouselは、ジュエリーの常識にとらわれない自由な発想から生まれたコレクション。創造的で包み込むようなラグジュアリーをリーには、ロベルトコ



丸山ワクチン患者の会の現在

私はここ半年ばかり月に一回開かれる「丸山ワクチン患者の会」にお邪魔している。癌を患っていてその治療の一つとして丸山ワクチンを投与している患者さん、その家族たちが集まっている会である。誰にでも門戸を開いているので、常連の方もいるけれどそのつど新しく参加される方もいる。自分はキャリア(患者)ではないけれども、このワクチンには以前から関心があったので、皆さんのお話を片隅で聞かせていただいている。

現在では丸山ワクチンの存在すら知られなくなっているのではないかなと思うけれども、発表当初は癌治療の特効薬として大きな話題になったので、昭和世代の人にはなじみがあると思う。

皮膚結核の専門医であった丸山千里氏が、らい病患者の治療に通っていたその園に一人の癌患者もいない事を讃え、その中心にあるのは一とびきりの楽しさだ。

で取り上げられ国会でも癌治療として認可すべきだと議論されたが、当時(1960年後半)の厚生省は頑として認めなかった。不承認の理由は詳らかではないが医学界の意向もあるのだろう、その姿勢は現在でも続いている。

医学界では当初より怪しげな治療薬扱いだから患者が丸山ワクチンを試してみようとしても、打ってくれる医師を探すところから始めなければならない。「患者の会」の患者さんも異口同音にその苦勞を語る。術後に主治医ともめたくないがゆえにワクチン投与を隠れて利用している方がほとんどである。丸山ワクチンの利用に理解を示す大学病院系統の医師はほとんどいない。医師の姿勢に反発して丸山ワクチンのみで癌治療に挑んでいる患者さんの話、あるいは抗がん剤の副作用で食事も満足にできない患者さんの話を聞くと、かけがえのない命への思いを理解しない医師たちには義憤を覚える。副作用が

ほとんどない丸山ワクチンは患者側から見れば体にやさしい治療薬だと思えるし、抗がん剤で命を縮めるのでは、本末転倒だろう。肝心のワクチン効果はどうだろうか。「丸山ワクチン患者・家族の会」のホームページに患者さんの実際の声が載っている。読まれればよいと思うが、直接自分が聞いた限りでは、効果に個人差はあるものの腫瘍マーカーの数値が改善した、痛みが和らいでよく眠れるようになった、など癌の成長抑制に効果が現れる話がほとんどである。医学に素人である私から見ると癌を一気に消滅させるという(奇跡的な場合もあるが)よりは癌を患いながらも普通の生活ができる、癌との共生に道を開ける点で大変有効だと思う。

丸山ワクチンはまだまだ未解明の部分がある治療薬だが、このワクチンで多くの患者さんが助けられ、延命してきたという事実は変わらない。この会はすでに120回を超えているという。患者に寄り添ったこの会の地道な活動とその持続力は立派なものだと思う。医師の言うことは絶対という医者と患者の関係性に風穴を開ける意味でもこの会の意義は大きいと思える。丸山ワクチンの情報もある。関心のある方は参加されるといい。(電話相談は03-3823-4620、9:00～13:00、月・火・木)

貧骨

cosmoloop.22k@nifty.com

至福の着け心地は、大人たちの時間のために

じっくりとただ静かに、自分だけの時間を愉しむ大人たちへ。わずか1.00mmのムーブメントがもたらす何物にも代えがたい心地よさをその腕に。

Eco-Drive One

CITIZEN

AR5054-S1E 473,000円 (税抜価格 430,000円)
シチズン時計株式会社 <https://citizen.jp>